

# 第12期 子ども大学はにゅう 活動記録(令和4年度)



8月18日(木)開催

## 入学式

時間：9:00~9:10  
会場：埼玉純真短期大学

市内の小学校4~6年生の子ども達14名が入学しました。今日は1日大学生！楽しく学びましょう！

## アイスブレイク

時間：9:15~9:45  
会場：埼玉純真短期大学  
講師：羽生市青少年相談員

「アイスブレイク」とは緊張で氷のように固くなっている心を溶かすということを意味します。学生たちがより早く打ち解け、子ども大学をもっと楽しく過ごせるように、青少年相談員のもと自己紹介を交えたレクリエーションを行いました。



埼玉純真短期大学で入学式を行いました。シャンデリアのある豪華なマナー実践室に、緊張した面持ちの学生が集まりました。式が始まるのを今か今かと待っている姿から、今日の学びを楽しみにしていたことが伝わってきました。藤田学長と秋本副学長からお話があり、子ども大学に参加する心得を教えてくださいました。

今年のカリキュラムも、市内の企業訪問や立体パズル作り、あかちゃん人形のお世話体験など、小学校の授業では体験できないような魅力的な講義をたくさん用意しました。

講義の前に青少年相談員による「アイスブレイク」が始まります。市内の7つの小学校から集まった学生の多くは初対面のため、まずは、お互いの名前を知る「となりのとなり」という自己紹介ゲームをしました。「〇〇のとなりの△△のとなり…」と名前を次々に覚えていきます。次に「ナンバーコール」という手を叩いた数に合わせて友達を早く集めるゲームを行いました。一人一人が率先してゲームに挑戦し、みんなが一つになって楽しんでいる印象を受けました。最後に「関所破り」という2列に分かれてお互いの前方にいる青少年相談員(関所)とジャンケンをして、どちらの列の全員が先にジャンケンに勝てるかを競うゲームです。ゲームは白熱していて一番盛り上がりがありました。様々なレクリエーションを通して、学生同士の仲が深まり、講義を受ける準備万端です。

アイスブレイクが終わり、純真バスに乗って1つ目の講義会場の(株)東亜酒造へ移動しました。



## 講義 I

「はにゅうの産業と歴史を知ろう

~お酒づくり400年! ウイスキーづくり復活に挑戦! ~

時間：10:00~11:30  
会場：株式会社東亜酒造  
講師：株式会社東亜酒造の皆様



最初の講義は、(株)東亜酒造を訪問しました。羽生市のことを学ぶ「ふるさと学」の講義です。

(株)東亜酒造は、約400年前の江戸時代初期から秩父で酒造業を始め、約80年前の昭和16年に赤城山水系の水を求めて羽生市に本社を移した、長い歴史のある企業です。身近なお酒はどのように作られているのか、市内企業の歴史と技術を学びました。

初めに相談役の赤堀先生から、会社の歴史の紹介とお酒作りには様々な「菌」を使っていると説明がありました。身近な食品に使われている菌を知ってますか?の質問に、学生たちは「ヨーグルト・醤油・味噌・納豆・パン」と次々に答えていました。

続いて講義は、経営統括本部部長の西田先生から、会社で造っている日本酒や焼酎、料理酒などの様々なお酒の中から「ウイスキー」のことを詳しく教えていただきました。クイズ形式の講義で思い思いに発表しながら、楽しく学んでいました。ウイスキーは大麦から造られ、完成するまでに約3年間も熟成させます。今回は特別に、ウイスキーが造られている一般公開前の「羽生蒸溜所」と工場の見学をします。



講義のあとは学生たちが楽しみにしていた工場見学です。工場に入ると、お酒特有の香りが広がり「甘い匂い」「ぶどうみたいな匂い」という声が上がりました。ポットスチルから出てきた出来たての透明なウイスキーを見たり、バック詰め仕立ての温かい商品を触ったりして、普段できないような体験に、学生たちは目を輝かせていました。そして、学生たちが20歳になったときに羽生蒸溜所で作られたウイスキーを貰えるという素敵なプレゼントをご用意していただきました。(株)東亜酒造の皆様ありがとうございました。



## 講義Ⅱ

「立体パズルをつくろうー木製ソーマキューブー」

時間：12:20～14:20  
会場：埼玉純真短期大学  
講師：佐々木 昌孝 先生（ものづくり大学）  
学生スタッフ1名



2つ目の講義は、27個の木片でソーマキューブを作りました。ソーマキューブとは、7つの異なるピースを3×3×3の立方体に組むパズルです。立方体を作るだけでなく、犬や椅子などの様々な形を作ることができ、その種類は約480通りあると言われています。

まずは、木片を瞬間接着剤で繋げます。四苦八苦しながらも、上手に7つのピースを作っていました。そして、組み立てやすくなるために色を塗ってカラフルなデザインにしてみました。黙々と手を動かしながら作業に熱中し、いつの間にか指先もカラフルになっていました。



色塗りが終わって480通りある組立てに挑戦していきましました。序盤は組立てに苦戦していましたが、先生や学生スタッフのアドバイスですぐに上達し次々と完成させていきました。長時間の講義でも集中力を切らさずに打ち込んでいたので驚きました。

## 講義Ⅲ

「あかちゃんのお世話をしてみよう」

時間：14:30～15:30  
会場：埼玉純真短期大学  
講師：加藤 房江 先生（埼玉純真短期大学）  
学生スタッフ6名



最後の講義は、本物のあかちゃんと同じくらいの重さがあるあかちゃん人形を使った沐浴体験です。加藤先生からはお世話をする楽しさを知ってほしいとお話がありました。

初めに、学生はあかちゃん人形に名前をつけて抱っこしたり、頭をなでたりして、優しく接していました。

沐浴体験では、首が座っていないあかちゃん人形の首と頭を片手で支えながら、髪や顔を洗うのが大変な様子でした。しかし、純真短期大学の学生スタッフのアドバイスとサポートもあり、目や耳にお湯や石鹸が入らないように一生懸命お世話をしていました。



沐浴の後は、あかちゃんが風邪をひかないように素早く服を着させます。そのために、下着と洋服を重ねておいたり、オムツの用意をしておいたり準備が肝心です。お世話が終わったときには腕がプルプルしていて良い達成感の中、最後の講義が終了しました。

## 学習のまとめ

時間：15:40～16:00  
会場：埼玉純真短期大学  
講師：小澤俊太郎先生（埼玉純真短期大学）



一日を通してたくさんの新しいことを学びました。学びは振り返ることと定着します。総復習として、学習のまとめを行いました。

## 修了式

時間：16:10～16:30  
会場：埼玉純真短期大学

楽しい時間もあっという間に過ぎていきました。入学式の緊張していた様子とは違い、笑顔にあふれ、達成感のある様子で式に臨んでいました。コロナ禍で制限のある中での開催でしたが、どの講義も、子どもたちにとって忘れられない貴重な体験になったと思います。

マナー実践室で修了式を行いました。まずは学習のまとめで編集した写真をもとに感想を発表しました。「ソーマキューブが作れて楽しかった」「保育関係の仕事をしたので良い経験になった」など楽しそうに一日を振り返りながら話していました。

続いて藤田学長から学生一人ひとりが修了証書を受け取りました。そして2年連続で参加した6年生の2人に秋本副学長から記念品が贈呈されました。



子ども大学へのご入学ありがとうございました。

これからも、たくさんのことに興味を持って、楽しみながら学んでいってくださいね！

## みんなと一緒に記念写真



式終了後に、藤田学長、秋本副学長を交えて記念撮影を行いました。  
※写真撮影時のみマスクを外しました。

発行日 令和5年2月  
発行・編集 子ども大学はにゅう実行委員会  
(埼玉純真短期大学・(一社)羽生青年会議所・  
羽生市青少年相談員協議会・羽生ロータリークラブ・  
羽生市教育委員会)  
協力団体 アロハガス(株)・(有)シガ工芸